

夏のボランティア促進イベント



ボランティア活動を考える

- 1 講話「被災地支援ボランティアの現状と課題」 岩手大学教授・名古屋恒彦
- 2 岩手大学内ボランティア団体の活動紹介（予定）
赤十字奉仕団、ボランティアサークル ひよこ、フェアトレード
いわて、朔風、天気輪の柱、もりもり☆岩手ほか



（イベントの内容）

東日本大震災から1年以上が経過し、被災地で求められるボランティア活動は多様化しています。今求められる被災地でのボランティアとはどのようなものか？ また、地域社会において大学がどのような役割を果たしたらよいのか。現状をふまえながら、大震災発生以来被災地でのボランティア活動に積極的に関与してきた名古屋恒彦先生にまず話していただきます。併せてボランティア活動に対する大学の単位認定にもふれていただきます。

また、大震災以後、天気輪の柱やもりもり☆岩手など、岩手大学内に被災地への支援を積極的に行う団体が登場し、その活動は各方面から喜ばれ注目を集めています。

一方、岩手大学には従来から各種のボランティア団体が存在し、2010年10月には4団体（朔風、赤十字奉仕団、ボランティアサークル ひよこ、フェアトレード いわて）によるボランティア団体協議会が発足しました。各団体では被災地へのボランティアを含め、それぞれのスタンスでボランティアに取り組んでいます。

そうした団体の活動紹介を行いながら、ボランティア活動をしたい気持ちがあるが、どうしたらよいかわからないという人を含め、ボランティアについて一緒に考えようと思います。

【日時】： 2012年7月19日（木） 15:00～16:30

【場所】： 岩手大学学生センターA棟会議室

【主催】： 大学教育総合センター学生支援部門・
岩手大学学生ボランティア団体協議会

【対象】： 教職員・学生

【問合せ先】： 岩手大学学生支援課（019-621-6749）